
鉱山研究会 (Japan Mine Research Society)

ニューズレター

No. 118

2021年6月10日

研究会運営の現状について

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮して、2021年4月から当分の間、合宿や会合形式の活動を中止しています。まだしばらく再開の見透しはたちません。

活動の再開が可能になり次第、案内をさしあげます。

ご意見・ご希望をお寄せください。

本誌の付録として、①仮訳 Rodman Wilson Paul, *Mining Feontiers of the Far West, 1848-1880* (著者略歴、目次、2001年版まえがき、1963年版まえがき) を添付で、メールアドレスのないひとには郵送で送ります。

また、②会計報告と③名簿は会員のみ郵送します。同時に④会費請求をします。送金先は2つあります。

▼郵便振替口座: 鉱山研究会 00250-9-137795

▼ゆうちょ銀行口座: 鉱山研究会 普通 大口駅前支店 10970 30903001

2021年度経過・予定 (一応の目安)

■行事回数 ①年次大会・例会3回 (195、196、197) (合計4回) ②見学会・巡検2回 ③映像の会3回 ④海外文献の会5回

■刊行回数 ①『鉱山研究』97号 2022年3月18日発行 1回

②『ニューズレター』No. 118、119、120、121、号外随時

2021年度

6月10日(木) 『ニューズ・レター』No. 118 付・会員名簿、決算報告、監査報告、仮訳 Rodman Wilson Paul, *Mining Feontiers of the Far West, 1848-1880* (Paul 略歴、目次、2001年版前書、1963年版前書)、会費請求

日程未定 2021 年度総会

日程未定 例会 第 195 回～、

日程未定 映像の会 第 52 回～

日程未定 海外文献の会 Clark C. Spence, *British Investments and the American Mining Frontier 1860-1901*

2021 年 6 月 アメリカ鉱山史協会年次大会 (Virtual) Elko, Nevada

日程未定 Irving 社の探鉱事業現場見学 (北海道雄武町)、鴻之舞鉱山資料館

2021 年 9 月 27 日～10 月 日 オーストラリアン (Australasian) 鉱山史協会年次大会、Burra, South Australia

2021 年 12 月 24 日 (金) 『鉱山研究』97 号原稿の締め切り

2022 年

2022 年 3 月 18 日 (金) 『鉱山研究』97 号発行

2022 年 6 月 アメリカ鉱山史協会年次大会 Birmingham, Alabama

2022 年予定 国際鉱山史会議、金瓜石、台湾

2020 年度活動運営案

①会員数の減少。会費の 3 年以上の滞納者の会員資格停止により会員数が減少し、現在 28 件になりました。今年度に二人の外国の研究者が入会しました。

財政安定のためには 35 件の会員数が必要です。入会の勧誘をお願いします。

②研究 97 号の発行は発行は財政上可能ですが、98 号以降の発行については未確定です。

検討事項

(1) 会員数の増加に努める。学生・大学院生は割引会費を維持する。

今年度年初に、3 年以上会費の滞納している会員は退会とする措置を実行しました。今後もこの方針を維持します。

①郵送費の削減のために、『ニューズレター』、臨時号や案内をメール配信にする。ただしメールを利用していない会員や印刷物を希望する場合は郵送を維持する。

②合宿・見学会・巡検などは、従来どおり経費を参加人数割にして、その時点で精算する。

③例会・映像の会など会場費を必要とする場合は寄付をつのる。

(2) 各行事ともに参加者が少なく、企画内容に工夫が必要。

- (3) 例会や大会での報告者が少ないので、会員か否かを問わず、報告できるひとを積極的に探す。報告した人に入会を促す。
- (4) 合宿、巡検や見学会は、会員の希望を受けて、それに従って見学地を選定する。
鉾山遺跡は存在そのものが所在不明になりつつあります。今後はほとんどの鉾山遺跡を現在の時点をのがすと見学できなくなります。積極的に見学を行いましょう。
- (5) 各行事への非会員の参加を容易にして、その後に入会を促す。
- (6) 『鉾山研究』には、大会や例会での報告をできるだけ掲載する。また非会員の原稿も掲載し、その後入会を促す。
- (7) 『鉾山研究』の100号は記念号にする企画をたてる。
- ★ご提案やご意見を村田淳までお寄せください

第52回鉾山の映像を観る会の予定案

今回はコロナ禍が収まり次第開催します。

候補作品として、

①『アギー〜神の怒り』、ヨーロッパ諸国は黄金郷、エルドラドを自国の領土にしようと、スペインも探検を名目にして中米から南米をめざした。そのなかで1560年末探検隊はアマゾン奥地に進軍した。その末路を物語っている。

②『メートワン』、USA、ウエストバージニア州メートワンにあった炭鉱での労働争議を中心にした作品です。この時期のアメリカでの労働組合や、争議にたいする暴力的な抑圧が丁寧に描かれています。

③『恐怖の報酬』、鉾山とはいえ油田に関係する、同名のフランス映画のリメイクです。石油施設の火災事故を收拾するためのニトログリセリンを運搬する男たちの物語で、『フレンチコネクション』を監督したときのように、エキサイティングな場面に圧倒されます。

*ご意見ご要望のある方は、村田淳までご連絡ください。

映像の会の運営担当者の募集

現在、映像の会の担当者が不在です。どなたか運営の担当をお願いします。

以下が担当事項です。

- ①活動内容は鉾山に関する映像を視聴するための準備と実施。
映画作品と鉾山映像を交互に上映。TV作品でもかまわない。
- ②上映作品の探索や借り受け。

- ③開催は年2回、土曜日午後。
 - ④会場の確保、都区内であれば場所はとわない。理想的には渋谷か中央区内。
 - ⑤上映に必要な機材の借用と会場までの持参。
 - ⑥案内の作成・メール配信・『ニューズレター』掲載。案内は約60日前に発信。
- 連絡・問合せ：村田 淳 221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

Phone・Fax：(045) 401-5259 メール：sunao-murata@asahinet.jp

『鉾山研究』97号 原稿募集

ほかの項目の活動ができない状況下にあります。『鉾山研究』の発行は活動の中心の一つであり、コロナ禍の影響を受けませんので発行を続行します。

執筆者が固定していますので、できるだけ多くのかたの投稿をお願いします。

内容は鉾山に関係するものであれば、分野を問いません。お手元にある資料や研究ノートの形式でもかまいません。

原稿はできればメールあるいは電子データで村田にお送りください。その際、原稿指定という作業の必要上、必ずプリントアウトした原稿と図版も同時に郵便で送ってください。わたしのほうでプリントアウトする手間と時間がかかりますので、必ずお願いします。

なお採否は編集担当が審査します。原稿は原則として見出し、図版を含めて10頁以内(1頁1,638字×10頁)、字数は全て文字数に換算すると16,380字以内です。ただし、長いものは必要があれば数回にわけて掲載することも可能です。

■締切：2021年12月24日(金)

■発行：2022年3月18日(金)

■問い合わせ・送り先：村田 淳 〒221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

Phone・Fax：045-401-5259

メール：sunao-murata@asahinet.jp

ご注意：会費を3年以上滞納している場合は、退会の扱いにさせていただきます。健全な財政上の運営の必要のために会費の納入をお願いします。